

競技注意事項

1. 開催日及び受付時間 平成29年7月1日(土)・2日(日)
7時30分開門 8時30分までに受付
2. 会場 三ツ沢公園陸上競技場
3. 規則 2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は9時00分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
5. 練習
 - ・サブグランドを使用する。
 - ・砲丸投の練習は、投擲ピットのみとする。
 - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子1m60
女子1m30の高さで1回認める。
棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは
2m90、3m50、4m00から選択する。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 招集
 - ・招集時間は トラック種目は 競技開始40分前～20分前まで
フィールド種目は 競技開始60分前～40分前まで
棒高跳は 競技開始90分前～60分前まで
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・2種目兼ねて出場する選手で、競技時間が重なり招集が不可能な場合は、事前に競技者係に申し出る。
 - ・招集は本人が行う。この時ナンバーカードとスパイクの確認を行う。
(ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下とする)
 - ・四種競技に参加する競技者は最初の種目を一般の種目と同様に行い、2種目目については現地(ピット)で行う。2日目は、最初の種目は招集を行う。最終種目においても、招集を行い、レーン確認と腰ナンバーを受け取る。
7. リレー
 - ・オーダー用紙は、競技開始2時間前から1時間前までに招集所へ提出する。
 - ・競技者はスタート20分前までに、各スタート地点に集合する。
 - ・リレーのナンバーカードは、偶数番号も可とする。
8. ナンバーカード
 - ・競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。走高跳、棒高跳の競技者は、背または、胸につけるだけでもよい。
 - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。文字の高さは12cm、幅5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
 - ・トラック種目、リレーのアンカーは招集所で受け取った腰ナンバーを右腰につける。
9. 計測
 - ・トラック
 - すべての競技者のタイムを計測する。
ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

共通	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	

・フィールド計測ライン

	男子	女子
走幅跳	5m50	4m40(共通) 3m90(1年)
砲丸投	10m00	9m50
走高跳	1m65(5cm)・1m85(3cm)	1m35(5cm)・1m60(3cm)
四種高	1m45(5cm)・1m65(3cm)	1m20(5cm)・1m40(3cm)
棒高跳	3m00(10cm)・4m00(5cm)	

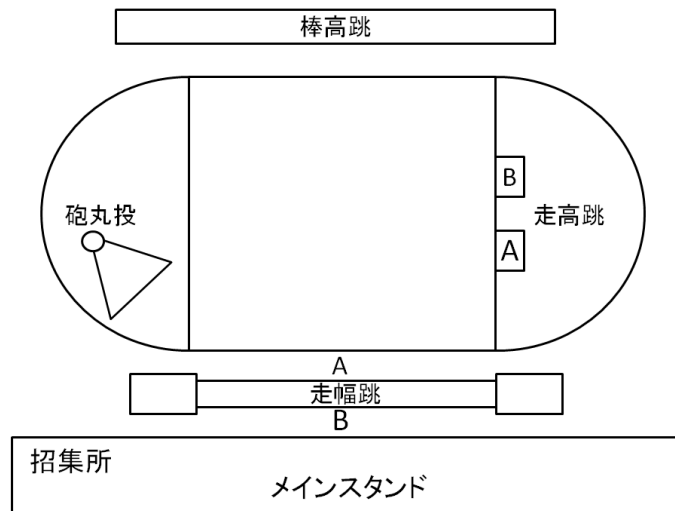
※走幅跳・砲丸投については、予選の計測ラインとする。

10. 予選通過及び決勝について

- トラック 電気計時 すべての競技者のタイムを 1/1000 まで比較し決勝進出者を決める。同タイムの場合は写真を拡大し、細部まで読み取る。それでも決定できない場合は抽選とする。
- ・ 3年100m・200m・400m・800m・110mH・100mH は、予選の上位8名でA決勝（1位～8位入賞決定）を、予選9位～16位でB決勝（9位～16位決定。いかなる記録でも入賞の対象外とする。）を行う。
 - ・ 1500mは15名、3000mは18名で決勝を行う。
- フィールド 共通走幅跳・共通砲丸投は、予選を行う。予選通過ラインを全国標準記録とする。予選通過ラインを超えた者が12名に満たない場合は、上位12位以内の選手で決勝を行う。
- ・ 予選通過ライン

	男子	女子
共通走幅跳	6 m 5 5	5 m 4 5
共通砲丸投	1 3 m 0 0	1 2 m 5 0

11. 表彰 各種目とも8位までを表彰する。該当者は正式記録通告があった後、表彰係に表彰状を取りに行く。
12. 開・閉会式 開・閉会式は本部前にて行う。(競技者はスタンド参加)
開会式は7月1日(土)9:00より行う。
13. 応援 ・ 応援・付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。(走幅跳ピット前の通路での応援も禁止)
・ スタート時の応援は禁止する。
・ 応援席最前列の手すり付近の応援は禁止する。
・ メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
14. その他
- ① 競技場の利用のしかた
 - ・ 競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立ち入り禁止区域には絶対に入らない。(通路や更衣室に荷物を置かない)
 - ・ 開門前には競技場には入らない。整列をして待つ。
 - ② 競技について
 - ・ スパイクのピンは走高跳12mm以下、その他は9mm以下。
 - ・ フィールドの各ピットは(A・B)下図の通りである。なお、使用するピットは当日の打合せにおいて変更の可能性もある。
 - ③ 競技者の控え場所
スタンドを利用し、所持品は各校で管理する。更衣室は更衣のみに使用する。
 - ④ 決勝進出で抽選が必要な場合アナウンスをよく聞き速やかに番組編成に集合する。
 - ⑤ サブトラックでの練習は、選手のみとする。
 - ⑥ トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。



※招集所は、100mスタート付近(スタンド下)に設置する。